

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号	0104
教科	国語	科	科目	論理国語	単位数
3	学年	学科・コース等	普通科・機械電気科		
				3	単位

学習到達目標	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを旨とする。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させる。</p>	
使用教材	
教科書	新編論理国語（東京書籍）
補助教材	新成現代文（尚文出版） 国語常識の総演習（啓隆社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<p>実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。</p>	<p>論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
評価方法	<p>定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容</p>	<p>定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容・自己評価</p>	<p>学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ ノートやワークシートの内容・ 自己評価</p>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1 自己を見つめて	私たちが新しい時代を幸せに歩んでいくために、掘り下げていきたいことや、探究したいことを考える。	○	○	○
	2 思考を深める	筆者の主張の根拠は何かを本文全体を踏まえて考える。	○	○	○
二学期	3 社会に向かって	自己を客観的に見つめ、志望理由書や自己推薦書を作成する。		○	○
	4 視点を変えて	筆者の主張に対して、賛成・反対の立場を明確にして、自分がどう考えるかをまとめる。	○	○	○
	5 問いを深めて書く	統計資料から問いを立てて、構成を考え、小論文を書く。		○	○
三学期	6 現代を考える	自分がこれまで政治について考えてきたことと文章に書いてあることを比較する。	○	○	○
	7 未来に目を向けて	将来はどのようになるかを文章中から読み取り、まとめ、自己の意見を持つ。	○	○	○

担当者からのメッセージ
<p>自己の主張を相手に正確に伝えるためには、論理的な話し方が大切です。人間関係が円滑に進むように、しっかり身に付けましょう。</p>

開拓精神

鹿児島県立頰娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号	0105		
教科	国語	科	科目	文学国語	単位数	4	単位
学年	3	学年	学科・コース等	普通科			

学習到達目標	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させる。</p>	
使用教材	
教科書	高等学校 標準文学国語（第一学習社）
補助教材	新成現代文（尚文出版） 国語常識の総演習（啓隆社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容・自己評価	学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ ノートやワークシートの内容・ 自己評価

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	現代の小説（一）	文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。	○	○	○
	現代の小説（二）	登場人物の発言から表に表れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。	○	○	○
	随想	抽象的な内容がどのように説明されているかを理解する。	○	○	○
二学期	近代の小説（一）	主人公と取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。	○	○	○
	現代の小説（三）	短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返す度に実感される主人公の変化を読み取る。	○	○	○
	近代の小説（二）	主人公と周囲の人々の考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。	○	○	○
三学期	現代の小説（四）	作品中の表現に注意しながら、主人公の心情の変化を読み取る。	○	○	○
	創作をする	物語が人間にとって持つ意味を考え、表現に注意しながら、物語を創作する。		○	○

担当者からのメッセージ
文学的作品は人生を豊かにしてくれます。様々な種類の作品を読んで、人間性を高めましょう。

開 拓 精 神

鹿児島県立頴娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号	0107		
教科	国語	科	科目	古典探究	単位数	3	単位
学年	3	学年	学科・コース等	普通科			

学習到達目標	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
使用教材	
教科書	新編古典探究（東京書籍）
補助教材	基礎古典（尚文出版） 国語必携パーフェクト演習（尚文出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ 資格試験・ノートやワークシート の内容・自己評価	学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・ ノートやワークシートの内容・ 自己評価

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1 随筆を味わう	会話主を指摘しながら、本文を読む。 まとめの一文に込められた作者も気持ちを考える。	○	○	○
	1 小話を読む	文章の内容がどのようなものか読み取り、故事成語の意味を考える。	○	○	○
二学期	2 歌物語を楽しむ	文中の和歌から読み取れる男の心情はどのようなものかを考える。	○	○	○
	3 史記を味わう	本文を正しく理解し、登場人物の言動を整理する。	○	○	○
	3 歴史物語を読む	文中の和歌から読み取れる登場人物の心情はどのようなものかを考える。	○	○	○
三学期	5 作り物語を味わう	文中の登場人物がどのように描かれているか読み取る。 主人公が少女に思いを寄せる過程を丹念に読み取る。	○	○	○
	4 中国の思想	諸子百家の思想を文章の読解から学ぶ。	○	○	○

担当者からのメッセージ
古典作品はその時代に生きた人々の証です。先人のものの考え方や感じ方などを、自分に引き寄せて読み味わいましょう。

開拓精神

鹿児島県立頴娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号	0204
教科	地理歴史	科	科目	地理探究	単位数
3	学年	学科・コース等	普通科		
				3	単位

学習到達目標	
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	地理探究（二宮書院） 基本地図帳（二宮書院）
補助教材	新詳地理資料COMPLETE2024（帝国書院） 地理探究ワークブック（二宮書院）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。</p>	<p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>
評価方法	<input type="checkbox"/> 確認テスト <input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 作図・読取課題 <input type="checkbox"/> 観察評価・提出物	<input type="checkbox"/> 確認テスト <input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 作図・読取課題 <input type="checkbox"/> 観察評価・提出物	<input type="checkbox"/> 確認テスト <input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 作図・読取課題 <input type="checkbox"/> 観察評価・提出物

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	2章 資源と産業 3章 人・モノ・金のつながり 4章 人口、村落・都市 5章 文化と国家 1章 地域区分 2章 現代世界の諸地域 1 中国 2 朝鮮半島	<ul style="list-style-type: none"> 第3次産業に関する基礎的知識を習得する。 世界の交通・情報通信の基礎的知識を習得する。 世界の貿易・観光の基礎的知識を習得する。 世界の人口に関する基礎的知識を習得する。 村落・都市に関する基礎的知識を習得する。 民族と国家の関連を理解し、基礎的知識を習得する。 中国と朝鮮半島の特色を理解する。 	○	○	○
二学期	3 東南アジア 4 南アジア 5 西アジア・中央アジア 6 北アフリカ・サブサハラアフリカ 7 ヨーロッパ 8 ロシア 9 アンゴロアメリカ	<ul style="list-style-type: none"> 多様な民族が広がる東南アジアの特色を理解する。 巨大な人口をもつ南アジアの特色を理解する。 西アジアと中央アジアの特色を理解する。 北アフリカとサブサハラアフリカを比較しながら、特色を理解する。 ヨーロッパについて、地域統合に着目し、特色を理解する。 資源外交で世界に影響を与えるロシアの特色を理解する。 アンゴロアメリカの特色を理解する。 	○	○	○
三学期	10 ラテンアメリカ 11 オーストラリア 12 ニュージーランドと島嶼国	<ul style="list-style-type: none"> ラテンアメリカの特色を理解する。 オーストラリアの特色を理解する。 オセアニア諸国の特色を理解する。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 写真やグラフなどを活用し、多様な角度から地理的事象を捉えられるようにする。 それぞれの地理的事項に関して、常に理由や原因を探究する気持ちで授業に臨む。

開拓精神

鹿児島県立頌娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号	0208		
教科	地理歴史	科	科目	日本史探究	単位数	3	単位
学年	3	学年	学科・コース等	普通科			

学習到達目標	
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	高校日本史（山川出版社）
補助教材	新詳日本史（浜島書店） 新日本史研究ノート（啓隆社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、単元テストの結果 学習状況の観察 提出物の内容 学習成果の発表内容 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、単元テストの結果 学習状況の観察 提出物の内容 学習成果の発表内容 	<ul style="list-style-type: none"> 出欠状況 学習態度 学習状況の観察 自己評価 提出物の内容と提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第Ⅲ部 近世 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第Ⅳ部 近代・現代 第11章 近世から近代へ	<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の確立期の社会を多面的・多角的に考察する。 江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察し、経済発展と町人文化が形成されたことを理解する。 財政が悪化するなかで実施された諸改革とその影響を考察し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 開国から新政府の発足に至る過程を理解し、どのような国家が構想されたか考察する。 	○	○	○
二学期	第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開と国際関係 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代化の特徴について考察し、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法制定の意義を、多角的に考察する。 条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦後の日本の国際的地位の変化と対外進出について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 資本主義国家の基礎確立の過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 西洋文化と伝統的な文化が接触した近代文化、産業構造の変化や都市化による大衆文化の特色について考察する。 戦争の長期化、国民生活の変化や諸統制に着目して、全体主義的な国家体制が進展していく経緯を考察する。 	○	○	○
三学期	第16章 現代の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 連合軍の日本占領政策が日本社会に与えた影響を考察する。 高度経済成長政策の下で豊かになった反面、公害などの社会問題が発生したことや現代の諸課題について考察する。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 資料（史料）を活用し、多様な角度から歴史的な事象を捉えられるようにする。 歴史的な事項に関して、探究する気持ちで授業に臨む。

開拓精神

鹿児島県立頴娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号	0303
教科	公民	科	科目	政治・経済	単位数
学年	3	学年	学科・コース等	普通科	2
					単位

学習到達目標	
<p>社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）
補助教材	学習事項の整理と問題 政治・経済ノート（第一学習社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<p>社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>	<p>国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。</p>	<p>よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、単元テストの結果 学習状況の観察 提出物の内容 学習成果の発表内容 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、単元テストの結果 学習状況の観察 提出物の内容 学習成果の発表内容 	<ul style="list-style-type: none"> 出欠状況 学習態度 学習状況の観察 自己評価 提出物の内容と提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> 政治や政治権力の意味とその役割を理解し、よりよい民主政治のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現する。 地方自治の本旨の意味と日本の地方自治制度を理解し、望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 経済の役割と市場経済について理解し、市場の機能と限界や解決のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 	○	○	○
	第1章 現代日本の政治・経済				
二学期	第2章 現代日本の諸課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> 財政の機能としくみや金融をめぐる動向と課題を理解し、持続可能な財政のあり方や金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 日本経済における産業構造の変化を理解し、経済活動と福祉の向上との関連について、多面的・多角的に考察し、表現する。 取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとする。 国際社会の多極化や国際協力、国際法の果たす役割を理解し、どのような制度が必要か、多面的・多角的に考察し、表現する。 平和主義の理念を理解し、国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 	○	○	○
	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題				
	第1章 現代の国際政治・経済				
三学期	第2章 国際社会の諸課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> 比較優位や国際分業の利点を理解し、国益と地球的な規模での協調が求められる現状と問題点について、多面的・多角的に考察、表現する。 国際経済における日本の地位を理解し、国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について、考察、構想し、表現する。 取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとする。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 単なる知識獲得だけでなく、自分で積極的に考え、主体的に授業に取り組むことが大切である。 社会の一員としてどうあるべきかを常に意識する。

開拓精神

鹿児島県立頴娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号	0404
教科	数学	科	科目	数学Ⅱ	単位数
3	学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標	
図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分と積分について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。	
使用教材	
教科書	数学Ⅱ Standard (東京書籍)
ワーク	Standard Buddy WRITE 数学Ⅱ (東京書籍)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などの数学的な特徴を考察する力を身に付けている。 関数に関する様々な性質を考察するとともに、そこから新たな性質を導く力を身に付けている。 関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に捉えて問題解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 小テスト 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に参加する態度 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 提出物(宿題や課題プリント等)の取り組み内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	2章 図形と方程式 2節 円 3節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件を用いて円の方程式を求めるとともに、与えられた方程式がどのような図形を表すか判断することができる。 軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡の方程式を求めることができる。 	○	○	○
	3章 三角関数 1節 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> 一般角による三角関数の定義や、三角関数の間に成り立つ基本公式を理解し、活用できる。三角関数のグラフとその特徴が理解できる。 	○	○	○
	2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> 加法定理を理解し、活用できる。 	○	○	○
二学期	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 指数の拡張や、指数関数のグラフとその特徴について理解できる。 対数の定義や性質を理解し、計算ができる。 対数関数のグラフと特徴が理解できる。 	○	○	○
	5章 微分と積分 1節 微分の考え	<ul style="list-style-type: none"> 導関数の定義を理解し、計算できる。 接線の方程式を求めることができる。 導関数を用いて極値や関数の最大値、最小値を求め、グラフがかけられる。 	○	○	○
	2節 積分の考え	<ul style="list-style-type: none"> 微分の逆演算として不定積分が理解できる。 定積分が計算できる。 	○	○	○
三学期		<ul style="list-style-type: none"> 定積分を用いて、図形の面積を求めることができる。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し、ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ 基礎・基本をしっかり学習し、練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開 拓 精 神

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号	0409	
教科	数学	科	科目	数学C	単位数	
学年	3	学年	学科・コース等	普通科（選択科目）	2	単位

学習到達目標	
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	
使用教材	
教科書	数学C Standard（東京書籍）
補助教材	Standard Buddy WRITE 数学C（東京書籍）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 数学的な表現の工夫について認識を深めている。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力を身に付けている。 図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 小テスト 定期考査（または単元テスト）の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 定期考査（または単元テスト）の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に参加する態度 学習状況の観察 ノートや演習プリントの記述 提出物（宿題や課題プリント等）の取り組み内容および提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの平行及び単位ベクトルについて理解する。 平面上のベクトルが2つの実数の組で成分表示されることを平面上の点の座標と関連付けて理解する。 ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解する。 	○	○	○
	2節 ベクトルの応用	<ul style="list-style-type: none"> 平面上の点の位置ベクトルについて理解し、ベクトルの演算や成分表示、内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 	○	○	○
	3節 空間におけるベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 空間におけるベクトルの定義や平行条件について、平面上のベクトルの考えを空間に拡張できることを理解する。 	○	○	○
二学期	2章 平面上の曲線 1節 2次曲線	<ul style="list-style-type: none"> 放物線、楕円、双曲線の定義とその方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方をを用いて考察し、それらの曲線の基本的な性質について理解する。 放物線、楕円、双曲線を、离心率の考え方をを用いることで相互に関連付けて捉えて考察することができる。 	○	○	○
	2節 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> 曲線の媒介変数表示について理解する。また、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示について理解する。 	○	○	○
	3章 複素数平面 1節 複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。複素数の実数倍や和と差が、複素数平面上でどのように表されるかを理解する。 複素数の極形式を理解し、$a+bi$ の形の複素数を極形式で表すことができる。ド・モアブルの定理について理解する。また、ド・モアブルの定理を用いて $z^n = \alpha$ の解を求めることができる。 	○	○	○
三学期	2節 図形への応用	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面上の2直線がなす角の大きさが求められることを理解する。 内分点や外分点、円、軌跡を複素数を用いて表現することができる。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し、ペア活動やグループ活動を含め主体的に取り組みましょう！ 基礎・基本をしっかりと学習し、練習問題を自分の力で解く習慣をつけましょう！

開拓精神

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号	0505
教科	理 科	科目	物理	単位数	4 単位
学年	3 学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標	
物理的な事物・現象についての観察・実験を行い、より深く探求していく。自然に対する関心や探求心を高め、科学的な自然観を育成する。	
使用教材	
教科書	高等学校物理（第一学習社）
補助教材	改訂 スタディノート物理（第一学習社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
評価方法	発問評価 定期考査 レポート	発問評価 定期考査 レポート	授業態度 発問評価 レポート

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1章 運動とエネルギー 1節 平面運動と放物運動 2節 剛体のつりあい	水平投射、斜方投射について理解する。モーメントの求め方や重心について理解する。	○	○	○
	3節 運動量の保存	運動量と力積の関係を理解し、保存量としての観点から運動量をとらえ、保存則を理解する。	○	○	○
	4節 円運動と単振動	等速円運動や単振動について学習し、向心力や遠心力について理解する。ケプラーの法則を理解する。	○	○	○
	5節 気体の性質と分子の運動	熱力学第一法則、第二法則について理解する。	○	○	○
	第2章 波動 1節 波の性質 2節 音波	単振動と円運動から正弦波の式を導き出す。ドップラー効果について理解する。	○	○	○
二学期	3節 光波	光が横波であることや媒質によって速さが変化し屈折することを理解する。	○	○	○
	第3章 電気と磁気 1節 電場と電位 2節 電流	帯電の仕組みや電気量保存則、電場と電位の関係を理解する。	○	○	○
	3節 電流と磁場 4節 電磁誘導と交流	電流が磁場から受ける力の性質を理解し、ローレンツ力を理解する。電磁誘導の法則やローレンツ力の起電力を理解する。	○	○	○
三学期	第4章 原子 1節 電子と光 2節 原子と原子核	光電効果の実験とアインシュタインの光の量子論を理解する。	○	○	○

担当者からのメッセージ
日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもちましょう。学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけましょう。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号	0507
教科	理 科	科目	生物	単位数	4 単位
学年	3 学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標	
生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。	
使用教材	
教科書	高等学校生物（第一学習社）
補助教材	セミナーノート生物（第一学習社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。
評価方法	発問評価 定期考査 レポート	発問評価 定期考査 レポート	授業態度 発問評価 レポート

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1章 生物の進化	<ul style="list-style-type: none"> 細胞内共生について理解する。 受精によって生じる染色体の組み合わせについて理解する。 	○	○	○
	第2章 生物の系統と進化	<ul style="list-style-type: none"> 人為分類と系統分類の違いを理解する。 分子時計の考え方を理解する。 	○	○	○
	第3章 細胞と分子	<ul style="list-style-type: none"> 水、タンパク質、脂質、炭水化物の特徴を理解する。 タンパク質の立体構造は、機能と密接に関連していることを理解する。 	○	○	○
	第4章 代謝	<ul style="list-style-type: none"> 同化と異化の違いを理解する。 葉緑体の構造を理解する。 チラコイドで起こる反応の過程について理解する。 	○	○	○
二学期	第5章 遺伝情報とその発現 第6章 遺伝子の発現調節と発生	<ul style="list-style-type: none"> DNA複製の際に働く各種酵素について理解する。 RNAのヌクレオチドの種類と構造を理解する 真核生物における遺伝子の発現調節について理解する。 	○	○	○
	第7章 遺伝子を扱う技術とその応用	<ul style="list-style-type: none"> クローニングの方法や、用いる酵素などの働きを理解する。 ゲノム編集の利点について理解する。 	○	○	○
	第8章 動物の反応と行動	<ul style="list-style-type: none"> DNA型鑑定の原理を理解する。 ニューロンの構造について理解する。 	○	○	○
	第9章 植物の成長と環境応答	<ul style="list-style-type: none"> 植物ホルモンの特徴について理解する。 被子植物の胚発生の過程を理解する。 	○	○	○
三学期	第10章 生態系のしくみと人間の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 個体群と相互作用について理解する。 生態系における物質生産について理解する。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもちましょう。学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけましょう。

開 拓 精 神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号	0603
教科	保健体育 科	科目	体育	単位数	2 単位
学年	3 学年	学科・コース等	普通科・機械電気科		

学習到達目標	
<p>○体づくり運動・・・自己の体力に応じて、体ほぐしを行い、体力を高めることができる。</p> <p>○球技・・・各球技に必要な技術の獲得、個々の能力に応じた課題解決を目指して計画的に練習に取り組む能力を身につける。</p> <p>○陸上競技・・・自己の体力に応じたペースで走る能力を身につける。</p> <p>○体育理論・・・各項目においてどのような位置づけや内容があるかを理解できる。</p>	
使用教材	
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）
補助教材	ステップアップ高校スポーツ2024（大修館書店） 現代高等保健体育ノート（大修館書店）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	○運動の合理的、計画的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。	○自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り組み方や、目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	○運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	・授業への取り組み姿勢 ・スキルテスト・小テスト ・学習カードの記入	・授業への取り組み姿勢 ・ワークや実技の状況 ・学習カードの記入	・授業への取り組み姿勢 ・学習カードの記入 ・自己評価

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	体づくり運動	・自分の心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合う。 ・体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組む。	○	○	○
	体育理論 選択Ⅰ 球技 （バレーボール、ソフトテニス ソフトボール）	・個人的技能、集団的技能を習得する。 ・個人的技能、集団的技能を活用し、チームにあった作戦を立て、守りから攻撃への連携を生かしたゲームができる。	○	○	○
二学期	選択Ⅱ 球技 （サッカー、ソフトボール ソフトテニス） 陸上競技 短距離・リレー	・個人的技能、集団的技能を習得する。 ・個人的技能、集団的技能を活用し、チームにあった作戦を立て、守りから攻撃への連携を生かしたゲームができる。 ・中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることができる。 ・バトンの受け渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。	○	○	○
	陸上競技・長距離走 体育理論	・目標タイムに応じたペースで走ることができる。	○	○	○
三学期	選択Ⅲ 球技 （バスケットボール、バドミントン バレーボール） 体育理論	・個人的技能、集団的技能を習得する。 ・個人的技能、集団的技能を活用し、チームにあった作戦を立て、守りから攻撃への連携を生かしたゲームができる。	○	○	○

担当者からのメッセージ
卒業年度に当たり、生涯を見据えた運動への取り組みをしよう。

開拓精神

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号	0804		
教科	外国語	科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4	単位
学年	3	学年	学科・コース等	普通科			

学習到達目標	
<p>日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを理解し、情報や考え、気持ちなどを、場面や状況に即して英語で話したり、書いて表現したりすることができる。積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする姿勢で、言語の背景にある文化や価値観について理解を深め、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を涵養する。</p>	
使用教材	
教科書	Power On English Communication Ⅲ（東京書籍）
補助教材	ベーシックジーニアス英和辞典 第2版（大修館） Power On English Communication Ⅲ WORKBOOK（東京書籍）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。	日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	主体的、自律的に英語を使い、コミュニケーション能力を身につけようとするとともに、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を身につけている。基本的な学習方法を身につけ、日々の学習に活用することができる。
評価方法	授業における取り組みや小テスト、単元テスト、定期考査等	各単元や授業における各種活動の成果やパフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等	授業や単元の活動に取り組む姿勢や課題等の提出状況等

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	新聞や雑誌の記事を読む	新聞や雑誌の記事を読んで、内容をおおまかに把握することができる。記事について、自分の考えたことを発表することができる。記事を基に、更に調べたことについてプレゼンテーションをしたり、意見交換をすることができる。	○	○	○
	要約文を書く	もとの文章から話題文と重要な支持文を抜き出すことができる。情報を取捨選択して要約文を書くことができる。	○	○	○
二学期	聞き取りトレーニング	実際に話される英語で、語の強勢の変化を聞き取ることができる。世界各国の英語の発音の違いに気付くことができる。	○		○
	ディベートに挑戦してみよう	1つの論題について、肯定と否定の立場を明確にして、意見を出すことができる。主張のポイントとなる論点や予想される反論を考えて、情報や資料を集めることができる。	○	○	○
	基本英文法の復習	「分詞構文」や「関係代名詞」等について理解し、その文法を使った英文を読んだり、書いたりすることができる。	○		○
三学期	実践的な英文を読んでみよう	これまで学んだトピックに関する、より実践的な英文を読んでその内容を理解できる。	○	○	○
	意見発表	与えられた課題を解決するための方法を発表し、相互に意見交換や情報交換をすることができる。	○	○	○

担当者からのメッセージ
授業で学んだことを日々の自分の学習に活かすように心がけましょう。言語学習は継続が不可欠です。「少しずつ」を「毎日」続けることが上達につながります。

開 拓 精 神

鹿児島県立頴娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号	0806		
教科	外国語	科	科目	論理・表現 I	単位数	2	単位
学年	3	学年	学科・コース等	普通科			

学習到達目標	
英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。言語の背景にある文化や価値観について理解を深め、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を涵養する。	
使用教材	
教科書	MY WAY Logic and Expression I（三省堂）
補助教材	ベーシックジーニアス英和辞典 第2版（大修館）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	英語の語彙や文法、表現などの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開が適切にできる。情報や考えなどを効果的に伝えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えを活用することができる。伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や考えなどを伝え合うことができる。	主体的、自律的に英語を使い、コミュニケーション能力を身につけようとするとともに、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を身につけている。基本的な学習方法を身につけ、日々の学習に活用することができる。
評価方法	授業における取り組みや、パフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等	各単元や授業における各種活動の成果やパフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等	授業や単元の活動に取り組む姿勢や課題等の提出状況等

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	学校生活について発表	初対面の会話と自己紹介のスピーチをし、あわせて友だちのスピーチの要点をまとめることができる。ライティングの基本的な構成を理解して、学校生活や部活動を紹介する記事を書くことができる。	○	○	○
	学校や町を紹介	自分の学校や町について、施設や場所の特徴を説明する表現を用い、事実や自分の考えをまとめて発表することができる。	○	○	○
二学期	英語でスキット	レストランで料理を注文する場面を設定して、会話を考え、役割を決めてスキット形式で発表することができる。	○	○	○
	食事と文化について発表	基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考えを整理して、日本の食文化や世界の食文化を紹介するレポートを書くことができる。自分が選んだ料理の作り方をジェスチャーを使うなどして、視覚的にも工夫して発表することができる。	○	○	○
	地域の観光案内をしよう	地域の特徴や文化について、効果的な構成にまとめて発表できる。外国人観光客への案内を想定してスキット発表ができる。	○	○	○
三学期	行きたい場所について発表	外国で行きたい場所について、特徴や食文化、観光地などを調べ、事実や自分の気持ちをまとめて発表することができる。	○	○	○
	ディベートに挑戦	論題について、肯定と否定の立場を明確にして、意見を出すことができる。理由や具体的な説明を挙げるることができる。	○	○	○

担当者からのメッセージ
授業で学んだことを日々の自分の学習に活かすように心がけましょう。言語学習は継続が不可欠です。「少しずつ」を「毎日」続けることが上達につながります。

開拓精神

鹿児島県立頤娃高等学校

令和	7	年度	学習シラバス	整理番号	0905		
教科	家庭	科	科目	フードデザイン	単位数	2	単位
学年	3	学年	学科・コース等	普通科			

学習到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> 健康や生命に食事は深く関わっていることを理解し、よりよい食生活ができる態度と能力を身につける。 消費者として安全でよい食品を選択できる能力を身につけ、さらに食と環境の関わりについて理解する。 食品の特性を知り、その食品にあった調理の基本を理解し、日常の料理に応用できる能力を身につける。 	
使用教材	
教科書	フードデザイン Food Changes Life (教育図書)

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートに関する技術を身につけている。 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートに関する技術を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 食生活を総合的に据えて計画・実践するために課題を見だし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 食生活に関する諸問題に関心を持ち、食育の推進に向けて積極的に取り組もうとする意欲と態度を身につけている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む態度 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 プリント等の内容・提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1章 健康と食生活	<ul style="list-style-type: none"> 人間にとっての食べることの意義を考える。 自分の体脂肪を知り、食生活を見直すきっかけとし、欠食、過食、孤食などの問題点を理解する。 外食・中食の問題点と内食の利点について考える。 調理実習を通して、基本的な知識・技術を身につける。 	○	○	○
	第4章 調理してみよう		○	○	○
	第2章 栄養素と食品		○	○	○
二学期	第2章 栄養素と食品	<ul style="list-style-type: none"> 各栄養素の働きとその特性、それを多く含む食品を理解し、献立作りについて実践的に学習する。 食の衛生と安全性について知る。食品選択についても考える。 食卓を飾る意義を考える。 文化祭で作品の展示をする。 クリスマスメニューの実習を行いテーブルコーディネートについても工夫する。 	○	○	○
	第3章 食品の選択と取り扱い		○	○	○
	第5章 各国料理とコーディネート		○	○	○
			○	○	○
三学期	第6章 食育と食育推進活動	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進の取り組みや食文化について知り環境についても考える。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
「食育」が果たす役割の重要性を理解し、健康・環境等に優しい食の在り方とはなにか考える態度を養いましょう。調理技術だけでなく食卓をデザインするという視点を持ち、体験的・実践的な学習に取り組みましょう。

開 拓 精 神

令和 7 年度 学習シラバス				整理番号	0906
教科	家庭科	科目	保育基礎	単位数	2 単位
学年	3 学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 ・子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。 ・保育実習を通して児童文化財の利用方法を考察し、実際の保育活動に役立てる。 	
使用教材	
教科書	子どもの発達と保育（実教出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の特徴や発達過程、保育などに関する知識を身につけている。 ・子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特徴や発達過程に対応した技術を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを生み育てることや家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見だし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度 ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・プリント等の内容・提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・定期考査の結果

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1章 子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習計画を知り、到達目標を確認する。 ・乳幼児期は、親を中心とした保育者との関わりにより心身共に発達していくことを理解する。 	○	○	○
	第2章 子どもの発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人への聞き取り調査や母子健康手帳を確認し、自分の発育の過程を振り返る。 	○	○	○
	第3章 子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び、読み書き、運動遊びなど、実際に活動することで、子どもの心を引きつける教具・環境作りなどを理解し、実践的活動を行う。 	○	○	○
二学期	第2章 子どもの発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・精神発達の特徴を理解し、乳幼児期が人格形成上重要な時期であることを理解する。 ・保育者・乳幼児相互の「愛着」が重要であり、よりよい保育態度について考える。 	○	○	○
	第3章 子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的、社会的な生活習慣を理解し、健康管理や事故防止の観点からも保育者のかかわりの重要性に気づく。 	○	○	○
	第4章 子どもの文化	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものために受け継がれてきたおもちゃやおはなし、歌などの児童文化財や児童文化施設などを学習する。 	○	○	○
三学期	第5章 子どもの福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもはかけがえのない存在としてその人権が保障されている。子供観の変遷や子どもの権利について学習する。 ・子ども、子育て家庭を支えるために社会ができることを考える。 	○	○	○

担当者からのメッセージ
<p>将来よい保育者となるために乳幼児の発達や保育について理論の学習をすすめていきます。校内外の実習やボランティア活動に積極的に参加することで理解が深まります。幼児服に関する被服製作の実習もあります。</p>